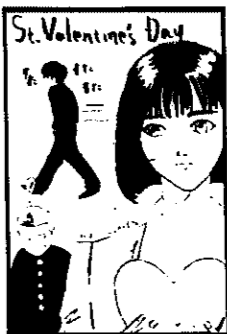


イラスト倶楽部

イラストはがきに黒一色ではつらう、薄い鉛筆書きはボツにします。ペンネーム希望の人も住所、氏名、年齢を必ず記す。採用分には粗品を贈呈。締め切りは毎月15日。それ以降に届いたものは翌月に回します。あて先 〒950-12 白根市大字白根1-2-35 白根市役所広報課イラスト係



▲P.N CURREN



▲P.N 青山(新坂田)



▲P.N 影斗(白井)



▲P.N ホタル(新生町)



▲P.N 崎本じん

市民文芸

俳句

豊年の菓の粘りや連連作 山田 孝
寒刺の釋られそこね跳ねて居り 五十嵐寛吾
切口を正し白菜漬を盛る 樋口 トシ
寝たきりの手に初鏡持たせけり 吉川八重子
雪積る気配の闇の底にそり 公像 雪夫
御手洗の杓子の香り初詣 木村 トリ
紐張ってあらあらちど茹菜干す 小林 すみ
着ぶくれて首を埋めし朝市女 山口 初野
七草粥病の妻に吹きこぼれ 猪股 南魚
獣医より犬に来てある年賀状 富樫 保子
雪しろの行く先知れず川暮るる (以上大風会)
山田 栄一
どか雪をもちたらし荒るる日本海 真島つぎえ
新雪を意のまま踏んで登校児 小野 義之
納屋まではまだ新雪の汚れなし 間島きよ子
雪踏んでスーパの冷めぬ距離に住む 名古屋庄一
蒼天に叫んでみたし二月来る 田中美根子
足跡のひしめき雪の市果つる 丸山 虚秋
植込みに鳩のくぐもる雪間かな 塚本 静子
理髪舗のどの鏡にも雪降り 間島 秀穂
(以上かまつか新飯田俳句会)

短歌

活け花の辛夷つぎつぎほぐれつつ
こもれる母に季を知らせる

広報クイズ

〔応募方法〕 はがきに答え、住所、氏名、年齢、ご意見を書いて白根市役所広報係(〒950-12 白根市大字白根1-2-35)へ。締め切りは3月17日(金)必着。正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館招待券をペアで差し上げます。

①平成6年12月末現在、白根市の一般会計予算額は約何億円?
A 93億円 B 113億円 C 213億円 (ヒント 2ページ)

②越後しろねを考える会が、白根の大風と物産PRに出向いたのは、東京都のどこ?
A 皇居 B 東京ドーム C 天王洲アイル (ヒント 12ページ)

③大風合戦のために、レルヒ少佐の遺族が優勝カップを寄贈してくれました。少佐が日本に伝えたスポーツは?
A スキー B スケート C ボブスレー (ヒント 14ページ)

先月の正解は ①C ②A ③A。当選者は、(図書券) 大谷チイ(東町) 平山誠(下道湯) 関根園子(茨曾根) 藤崎悟(魚町) 増子権一(大通) (自然科学館招待券) 近藤謙太(沖新保) 星野祐希(高井) 小山康徳(諏訪木)

●今月のハガキから
○「今月の受け入れ図書」の欄が表紙の写真を並べて見やすかったです。題名を並べるよりいいですね。(M)

○急に寒くなり、天気の悪い日が続いています。なかなか外に出られず、ストレスのたまった子供と一日一緒にいるというのも、結構疲れます。屋内公園があったらいいなあと思います。(A)

○除雪車が行ってしまつたに思います。もう少し丁寧に行ってもらえないものかと。(F)

○カレンダー展を見にいきました。いろいろなカレンダーがあり、楽しませてくれました。(M)

表紙破れし四体字典や 佐藤 ケイ
幾年も我を支へたのもしき一冊 星 ハツノ
銀鱗の清しき鮭の身ひらけ 木川 久子
命ぎつしらはらご抱く 大旗 イツ
おでん煮て孫等を待ちてとる夕餼 「うまい」とひとこと老いのよろこび
雪原に家建ち始まる基礎工事 坂井いづの
土くろぐろと春を息吹ける (以上星芒の会)
肘のばす生家のありて嬉しなる 八十路になれる身の幸せ 東樹 友次
七宝焼の色どりどりに並びあて 手にとる我的心弾みぬ 鵜 淑子

川柳
トンネルを抜けると温ったかい詠り 早川 英男
間の抜けた顔にもあった処世術 山岡 フミ
折れた矢が選ぶ静かな吹き溜まり 吉川 彰
裸婦像を真正面から見た戦 今井 七郎
古い殻抜けるわたしの一人旅 織田 福治
歯車の一枚抜けて歩み寄る 織田 セツ
法螺吹きの大風呂敷が結ばない 大谷 龍吉
白鳥がそり始める旅仕度 後藤マサノ
さよならも言わずに無二の友が遠く 佐藤トミノ
毛布一枚静かに掛ける姑の咳 佐藤 ヨキ
風の吹く方に転がる浮動票 田村 恒夫
板前の芸術乾杯まで命 高橋祐四雄
地震研ノーベル賞に遠い春 中村 尚治
(以上白根川柳文芸会)

Talk & Talk

市民談話室

日々考えていることや身の回りの出来事などを、500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただきます。あて先は広報広聴係(〒950-12 白根市大字白根1-2-35 白根市役所企画調整課)です。

食生活改善

推進委員として



滝沢道代 (館)

食生活改善推進委員をさせていただき、二年がたちました。最初は「食生活改善推進委員」という言葉を聞いて、戸惑いや不安がありました。しかし、保健センターへ行く回数が増えるにつれて、ほかの地域の人と話すこともでき、自分自身勉強することがたくさんありました。特に「栄養講座」の中で、添加物に関しては知らなかったことが多く、それらを「今まで口にしてきたのか」と思うと不安にもなりました。ビデオを見て、子供たちの好きなスナック菓子やハンバーガー、ソーセージ、ハム、輸入の果物の中に添加物が多く含まれていることを知りました。今では、スーパーへ行っても、商品マーク、製造年月日、保存期間などを

ある冬の日の出来事



小林理賀子 (曙町)

天気の良い休日のこと。私と五歳になる娘は、総合公園へスキーをしに行きました。普段勤めていることもあり、娘と思い切り遊ぶ時間もあまりない私。この日は寒い寒いという気持ちにむちを打ち、娘にスキーウェアを着せ、私もスキーズボン、ダウンジャケットにマフラーという完全防備で出掛けました。「誰かいるかな」と思いながら行

つてみると、誰もいませんでした。内心ほっとしながら始めます。屋外スキーのスタートが、娘にはちょうど良い勾配で「リフトがないといやだなあ」といいながらも結構楽しんでいました。しかし、二十分もすると、飽きたのか「雪だるまを作ろう」ということになり、スキーの上で大きな雪だるまを作り始めました。顔に付ける石を探すのに苦労しましたが、何とか完成。二人で作った雪だるまを満足そうに見ている娘の姿を見て、寒中思いつき外で一緒に遊んでよかったなとつくづく思いました。

「春になったら石だけがここにあって、それを見に来ようか」と約束をして、青空に少し雪がちらつく中を帰りました。

家族のきずな



小柳ノイ (中大郷)

まったく病気をしたことのない私が、ひどい風邪をひいてしまい、二十日も悩まされました。家族の者が「入院しなければならぬ」と心配していたのが十二月二十五日から

した。そのとき、うちのお母さんが、「もうすぐお正月なのに、入院なんかしなくても、私が一生懸命になって看護してあげます」と、優しく言ってくれました。家族の手厚い看護のおかげで、私も元気になってきて、一月一日には、体がだいぶ落ち着いてきました。お陰で入院もしないで済みました。その後、体が落ち着いてから二、三日おきに病院へ通い、点滴をしてもらいました。また、お母さんの友達も二人三人とお見舞いに来てくれて、とても嬉しく思いました。病気をして、改めて家族の優しさに感謝をする毎日です。

